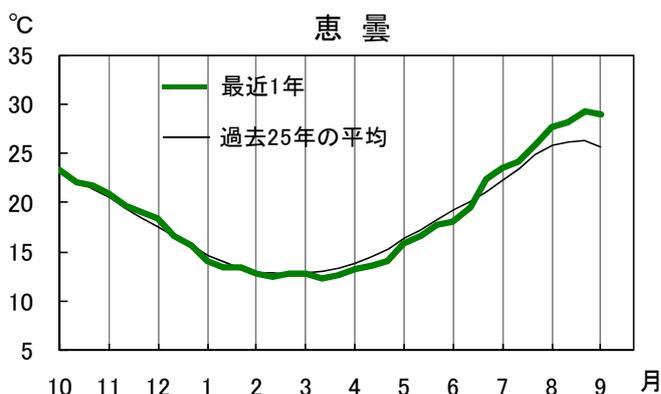
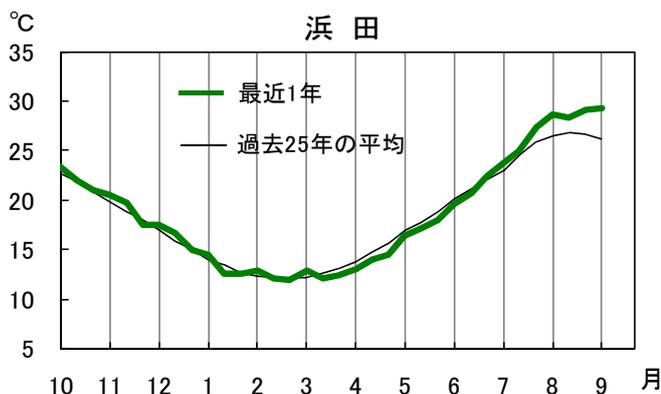




## 《8～9月の海況》

8月	月平均	平年差	評価
浜田	28.7℃	+2.0℃	やや高め
恵曇	28.3℃	+2.2℃	かなり高め

沿岸定地水温は、浜田地区及び恵曇地区とも8月以降高めの傾向が続き、両地区とも8月中旬までは「やや高め」、8月中旬は「かなり高め」、8月下旬以降は9月中旬時点まで「かなり高め～はなはだ高め」で経過しています。



## 《8月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ主体の漁況でした。マアジの漁獲量は平年の1.6倍と好調であったため、総漁獲量は平年を上回りました。一方、西郷地区および浦郷地区ではブリ、マアジ主体の漁況でした。マアジの漁獲量は平年の4割と不調でしたが、ブリは平年の6倍～22倍と好調であったため、総漁獲量は平年の1.3倍～1.4倍でした。なお、マアジの主漁期にあたる5月以降の3地区の累計漁獲量は約8千トンで、春先から海水温の昇温が遅めであった影響を受け、主漁期を通しては平年(約1万1千トン)をやや下回りました。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ主体の漁況で、その漁獲量は平年の2.9倍と好調であったため、総漁獲量は平年の2.7倍でした。西郷地区(属人5トン以上)でもケンサキイカ主体の漁況で、その漁獲量は平年の1.9倍でしたが、スルメイカが平年の1%未満と極めて低調であったため、総漁獲量は平年の1.2倍に止まりました。

## 【バイかご漁業】

石見地区バイかご漁業の総漁獲量は11.2トンでした。今期は早々に漁を切り上げ、出漁日数が減少したため、前年の7割の漁獲に止まりました。エッチュウバイの漁獲量は10.0トン、1隻1航海当たりの漁獲量は504kgであり、1隻1航海当たりの漁獲量は前年を58%、平年を30%上回りました。

## 【シイラまき網漁業】

石見地区のシイラまき網漁業はシイラ主体の漁況で、その漁獲量は平年の4割でした。1隻1航海当たりの総漁獲量は954kgと平年の7割であったことに加え、例年シイラと共に漁獲されるヒラマサの来遊が少なかったこと(漁獲量の平年比2%)も影響し出漁日数が平年の7割に止まったため、総漁獲量も平年の4割と低調でした。

## 【定置網漁業】

石見地区の漁獲量は、1統当りではコシナガが前年の5倍と好調でしたが、マアジが前年の1割と低調であったため、全統の総漁獲量は前年の5割でした。出雲地区の1統当りでは、マアジが平年の1割の他全般に低調であったため、全統の総漁獲量は平年の2.5割に止まりました。隠岐地区の1統当りでは、ケンサキイカが平年の2.4倍と好調でしたが、マアジが平年の3割と低調であったため、全統の総漁獲量は平年の7割でした。

## 【釣・縄】

石見地区ではケンサキイカ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は25kgで平年を上回りました。出雲地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は24kgで平年を上回りました。隠岐地区ではケンサキイカ、カサゴ・メバル類、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は27kgで平年を上回りました。どの地区でもケンサキイカが好調であったことが特徴的で、その漁獲量は平年の1.4倍～3.3倍でした。

【平成 22 年 8 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ	279 トン	59%	112%	7.8 トン	47%	91%	○
	西郷	ブリ、マアジ	3,534 トン	106%	142%	35.7 トン	98%	125%	◎
	浦郷	ブリ、マアジ	2,198 トン	72%	116%	30.1 トン	74%	101%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	194 トン	447%	269%	296 kg	220%	157%	◎
	西郷	ケンサキイカ	30 トン	184%	119%	82 kg	134%	68%	▲
バイかご	久手	エッチュウバイ	8 トン	111%	73%	758kg	242%	156%	◎
シイラまき	和江	シイラ	24 トン	126%	31%	725 kg	153%	54%	▲
定置網 (大型)	浜田	コシナガ	32 トン	96%	144%	1,525 kg	100%	141%	◎
	美保関	サワラ	23 トン	13%	22%	296 kg	16%	26%	▲
	浦郷	ブリ	15 トン	145%	155%	768 kg	145%	165%	◎
釣り・縄	仁摩	ケンサキイカ、メダイ	31 トン	96%	178%	46 kg	94%	145%	◎
	大社	ケンサキイカ、ブリ	10 トン	199%	221%	20 kg	159%	167%	◎
	西郷	ケンサキイカ、カサゴ・メバル類、メダイ	18 トン	118%	127%	38 kg	111%	124%	◎

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下